



福島小学校だより

ふくしま

No. 2

令和3年4月30日

ホームページ <http://www9.wakayama-wky.ed.jp/fukushima/>

風薫る5月に入ります

新年度が始まって3週間たちました。始業式に「新学期俳句を作ってみよう」と呼び掛けたところ、学校や家で、楽しんで取り組んでくれたようです。何人かの作品を紹介します。

しんがっき まちにまった 6ねんせい (6年生)	しんがっき インクがにおう ほんひらく (6年生)
しんがっき コロナにまけず がんばろう (6年生)	あいさつで いいスタートだ しんがっき (6年生)
ともだちと かいわがはずむ しんがっき (6年生)	あいさつを しっかりしよう しんがっき (4年生)
がんばるぞ クラブかつどう しんがっき (4年生)	しんがっき ことしもげんきに たのしもう (3年生)
そうごうが たのしみいっぱい しんがっき (3年生)	しんがっき みんなとあえて うれしいな (3年生)

「五、七、五」と数え、リズムを感じながら新学期の思いを俳句にしてくれました。これからも季節や行事の折に触れ、俳句作りに取り組んでいきたいと思っています。

さて、4月15日(木)には「1年生を迎える集会」を実施しました。

みんなの拍手を受けながら、花のアーチをくぐって入場。6年生が心を込めて作ったメダルをプレゼントしてもらった後、一人一人自己紹介をしました。1年生の「好きなこと」に上級生も興味津々！とても和やかで楽しい時間を過ごせました。



来週からは5月です。さわやかな過ごしやすい季節。引き続き新型コロナウイルス感染症拡大状況を確認し、感染拡大予防に十分注意しながら、子どもたちの成長を支えていきたいと思っています。

校長 中村祐佳子

5月の学校行事予定です。

3(月) 憲法記念日	13(木) 集金2日目 ALT来校	23(日) 開校記念日
4(火) みどりの日		24(月) スクールカウンセラー来校
5(水) こどもの日	17(月) 5年加太舎宿保護者説明会	25(火) 集会(1限) 耳鼻科健診(1・3・5年)
6(木) 交通・挨拶指導 生活リズムチェック(～12日)	18(火) 内科健診(4・5・6年)	26(水) 漢字検定 6年1組研究授業
10(月) キッズサポート教室(2・5年) スクールカウンセラー来校	19(水) 1年1組研究授業 1年1組以外 13:25頃下校 1年1組 14:40頃下校	6年1組以外 13:25頃下校 6年1組 14:40頃下校
11(火) 内科健診(1・2・3年)	20(木) 避難訓練 検尿	27(木) 6年全国学力・学習状況調査
11(火) ～13(木) 図書室整理(学校司書来校)	21(金) 検尿予備日 育友会委員総会(19:00～)	28(金) 避難訓練予備日 眼科健診(全学年)
12(水) 集金1日目 6年アルバム用写真撮影		

「福島のきまり」

ルールを守ってみんなで楽しい学校生活を送るため、今年も「福島のきまり」を配布しています。金曜日には、各教室で帰りの会に放課後や休日の過ごし方を確認して帰っています。次のことは、特に今年も大切にしていきたいことです。おうちでも話していただけるとありがたいです。

- ・登下校について
 - 下校時も通学路を通り、帰り道に友達の家へよらないようにしましょう。
- ・名札などについて
 - 名札は、姓名を黒字で大きく書き、左の胸につけるようにしましょう。
- ・放課後の遊びについて
 - 放課後自転車で来ることは禁止します。
 - 校区外や繁華街・スーパー・コンビニ等に子どもだけで行かないようにしましょう。(高学年で、家の用事でどうしても行かなければならない場合は除く)
 - 放課後運動場は開放します。(夏場 17:00 まで 冬場 16:30 まで)
 - 一度、下校してから来るようにしましょう。その時は必ず職員室に寄り「●年●組●●です。今から遊びます。」と挨拶し、帰る時も、「今から帰ります。」と挨拶しましょう。

「このクギの穴は残っているんだ」

2005年に亡くなられた、大村はま先生の著書「灯し続けることば」の中に、こんな話があります。……

アメリカの有名な大統領ワシントンの少年のころのエピソードです。桜の木を切った話でわかるように、ワシントンは相当ないたずらっ子だったようです。

困ったお父さんは、ワシントンを読んで「これからおまえがいけないことをしたら、このキッチンの柱にクギを1本打ち込む。そのかわりいいことをしたら1本抜く。」と言いました。しかしなかなかいたずらはやまず、柱はクギだらけになりました。

やがてワシントンも考えるようになって、優しい心を見せたり人を助けたりするようになります。そのたびにお父さんは黙ってクギを抜きました。減ったり増えたりが続いて、ある日、とうとうクギは1本もなくなりました。

お父さんはワシントンを読んで柱をなでさせ、「おまえは本当にいい子になった。ごらん、クギはもう1本もない。」ワシントンもニコニコしました。

「だけどね。」とお父さん。「クギは1本もなくなったけれど、このクギの穴は残っているんだ。神様でなければ、この穴を元通りにすることはできないんだよ。」

ワシントンはそれから一生、「抜けばいいのではない、クギを打ち込んではいけません」という考えを心に持っていたといひます。……

考えさせられるお話です。「こうすればどうなるか……」と、少し立ち止まって、自分の行動の先のことを考えて行動できる子に育てていきたいものです。